

今後の職域からの健康づくりについて

○職域における健康づくりの現状・課題

<認定制度等>

「健康企業宣言」、「健康優良企業認定」：協会けんぽ東京支部、健康保険組合連合会東京連合会

「健康経営優良法人認定」：日本健康会議


<職域健康づくり推進事業の実施状況から>

- ・従業員の健康の重要性に対する認識と実際の取組との乖離
- ・労働衛生の事後措置が不十分
- ・継続性のある取組となるためのキーワード

キーパーソンの有無、双方向やチームとしての取組となっているか、外部資源の活用

○職域における健康づくりを進める際のポイント

- ・労働衛生の基盤と健康づくりの取組の融合
- ・ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの見極めとバランスのとれた実施（個人情報の取扱い含む）
- ・健康情報の正しい選択、優先順位づけ
- ・担当者やチームなどの役割づくり
- ・従業員の巻き込み・情報発信
- ・産業医や保健師等、外部資源の活用
（・やる気やパッション等）

 浸透するしくみづくり、構造化の重要性

○今後の職域における健康づくりの推進に向けて

事業者

行政

地域資源

その他